

抗加齢医学の実際 2012

エイジング臨床の最前線を学ぶ2日間

The 12th Anti-Aging Medicine Update 2012



開催日時

2012年9月16日(日) 17:45~21:00

9月17日(月・祝) 10:30~18:50

会場

東京スカイツリータウン® 東京ソラマチ®
イーストヤード9F スペース634ANNEX

(最寄駅:押上駅/とうきょうスカイツリー駅)

〒131-0045 東京都墨田区押上1-1-2 <http://www.tokyo-solamachi.jp/access/>

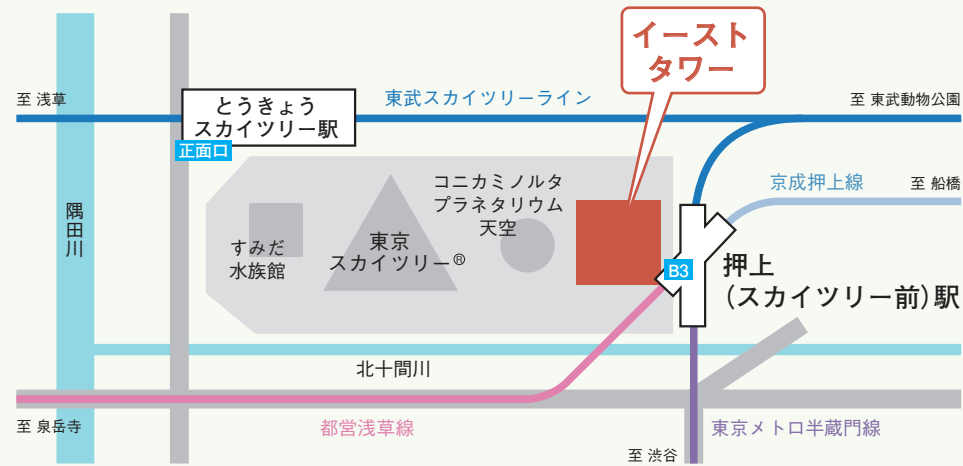
アクセス

東京スカイツリータウン® 東京ソラマチ®
イーストヤード9F スペース634ANNEX

「押上(スカイツリー前)」駅

- 東武スカイツリーライン(伊勢崎線直通)
- 東京メトロ半蔵門線
- 都営浅草線
- 京成押上線

の4路線が利用可能です。



お申込方法

以下の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。
メールでお申し込みの場合は、件名を「抗加齢医学の実際2012」として、必要事項を jissai@mediproduce.jp まで
お送りください。**お振込みが確認できました時点でお申し込み完了となります。**（振込手数料はご負担ください。）

【応募締切】定員に達し次第締切させていただきます。予めご了承ください。

【お振込先】三井住友銀行 青山支店 普) 6965817 口座名義 抗加齢医学の実際

※当日申込の場合は、当日受講料をご持参ください。定員制のため、事前申込をお薦めします。

※受講料は配布資料・懇親会費用・ランチ代(2日目)を含みます。宿泊費は含まれません。

参加申込書

※ご記入は、おひとり様につき1枚でお願いします。コピー可。

事前申込締切 8月31日(金) (振込締切)9月7日(金)

FAX番号 **03-5775-2076**

申込種別 該当する項目に チェックしてください	日本抗加齢医学会 会員	☐ 事前申込 (30,000 円)	☐ 当日申込 (35,000 円)
	日本抗加齢医学会 学生会員	☐ 事前申込 (25,000 円)	☐ 当日申込 (30,000 円)
	一般 (日本抗加齢医学会 非会員)	☐ 事前申込 (35,000 円)	☐ 当日申込 (35,000 円)
	一般学生 (日本抗加齢医学会 非会員)	☐ 事前申込 (30,000 円)	☐ 当日申込 (30,000 円)
(フリガナ) お名前			
日本抗加齢医学会 ID (会員のみ)			
勤務先・部署	※学生割引の方は、恐れ入りますが 学生証のコピーを一緒に FAX してください。		
ご連絡先 該当する項目に チェックしてください ☐ 勤務先 ☐ ご自宅	住所 〒 都 道 府 県		
	TEL ()	FAX ()	
	E-mail		
本セミナー 出展企業への 情報譲渡同意	※本セミナーでは、毎年10社程度の企業によるブース出展があります。 各社からのご案内を希望の場合、チェックをお願いいたします。 ☐ 同意する ☐ 同意しない	備考	

■キャンセルに関して

定員制となりますので、ご入金後のキャンセルはできません。予めご了承ください。(代理出席は可能ですのでご連絡ください。)

上記個人情報につきましては、(株)メディアプロデュースにて管理し、無断で第三者へ譲渡することは一切ございません。

お問い合わせ

株式会社 メディプロデュース (担当: 奥村・岩谷)

〒107-0062 東京都港区南青山4-1-12-203 TEL. 03-5775-2075 FAX. 03-5775-2076

E-mail jissai@mediproduce.jp URL <http://www.mediproduce.jp>

第12回

抗加齢医学の 実際2012

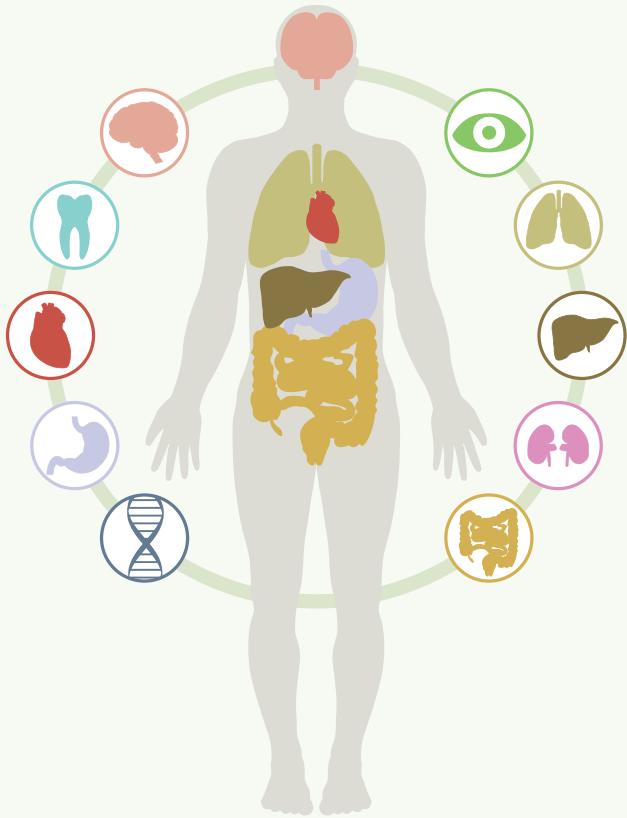
エイジング臨床の最前線を学ぶ2日間

The 12th Anti-Aging Medicine Update 2012

本年の『抗加齢医学の実際』は昨年に引き続き、より実践的なトピックを中心にプログラムを企画いたしました。1日目は、毎年恒例の坪田一男先生によるオープニングレクチャー「アンチエイジング・アップデート」、続いて、長寿に関わる遺伝子群を「発現・維持」のそれぞれのメカニズムで注目されている「サーチュイン活性」、「mTOR抑制」、「インスリンシグナル抑制」の3つのポイントで各スペシャリストの先生にご講演頂きます。

2日目の午前は、まずは特別講演で金子雅俊先生に「分子栄養療法の基礎」をその効果とともに90分間たっぷりご講演頂きます。続く「アンチエイジング治療最前線」では、新たな効果効能への期待が高まっているレスベラトロールと水素分子、そして皮膚の老化について、新しい視点でそれぞれご講演頂きます。

午後は、健康長寿をめざす方々にとって大変重要な「臓器年齢」についてのセッションを組みました。診療現場で臓器年齢をどのように確認できるかを肺、筋肉、ホルモン、目の各専門の先生に解説頂きます。そして最後のセッションは注目の「ごきげんのサイエンス」です。昨年、ハーバード大学での研究報告“自分の人生に満足している人ほど心臓が健康的”が話題となってから早1年が経ち、ポジティブな思考と長寿との関係がさらに注目を集めています。本年は、「脳を若く保つことで健康寿命延ばす」という最新のアンチエイジング研究から、「うつ病治療」の最前線を3名の先生にご講演頂きます。



1st day **9.16** / Sun.

17:45～17:50 開会の言葉 坪田 一男 先生 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

🕒 Session 01

オープニングセッション

17:50～18:30 アンチエイジングアップデート 坪田 一男 先生 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

🕒 Session 02

アンチエイジング最先端長寿遺伝子を巡る熱いディスカッション！

Moderator 伊藤 裕 先生 慶應義塾大学医学部内分泌代謝内科 教授

18:30～19:05 サーチュイン派 坪田 一男 先生 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

19:05～19:40 mTOR派 脇野 修 先生 慶應義塾大学医学部 内分泌代謝内科 専任講師

19:40～20:15 インスリン派 南野 徹 先生 千葉大学大学院医学研究院 循環病態医科学 講師

20:15～21:00 ディスカッション

2nd day **9.17** / Mon.

🕒 Session 03

特別講演

Moderator 坪田 一男 先生 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

10:30～12:00 分子栄養療法の基礎 金子 雅俊 先生 分子栄養学研究所 所長

12:00～12:15 休憩

12:15～13:00 ランチョンセミナー

13:00～13:10 休憩

🕒 Session 04

アンチエイジング治療最前線

Moderator 満尾 正 先生 満尾クリニック 院長

13:10～13:40 性機能障害におけるレスベラトロール 辻村 晃 先生 大阪大学大学院 医学系研究科泌尿器科 准教授

13:40～14:10 水素分子医学の現状と展望 大澤 郁朗 先生 東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長

14:10～14:40 皮膚の老化を防ぐ 山田 秀和 先生 近畿大学医学部奈良病院皮膚科 教授 / 近畿大学アンチエイジングセンター 副センター長

14:40～14:55 休憩

🕒 Session 05

臓器の年齢はいくつ？～診療の現場で手軽に確認できること～

Moderator 堀江 重郎 先生 帝京大学医学部泌尿器科 主任教授

14:55～15:25 肺の年齢 別役 智子 先生 慶應義塾大学医学部呼吸器内科 教授

15:25～15:55 筋肉の年齢 宮地 元彦 先生 国立健康栄養研究所 身体活動調査研究室長

15:55～16:25 ホルモン年齢と男性力 堀江 重郎 先生 帝京大学医学部泌尿器科 主任教授

16:25～16:55 目の年齢 坪田 一男 先生 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

🕒 Session 06

ごきげんに生きるためのサイエンス～うつ病予防から認知症まで心と脳の関係～

Moderator 坪田 一男 先生 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

16:55～17:25 脳と心を若く保つには 三村 將 先生 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 教授

17:25～17:55 うつ病患者へのアプローチ ～認知行動療法～ 大野 裕 先生 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター長

17:55～18:25 磁気刺激を使ったアプローチの是非 ～うつ病の治療～ 鬼頭 伸輔 先生 杏林大学精神神経科学教室 講師

18:25～18:45 ラストディスカッション

18:45～18:50 閉会の言葉 堀江 重郎 先生 帝京大学医学部泌尿器科 主任教授



伊藤 裕 先生

慶應義塾大学医学部内分泌代謝内科 教授

1983年京都大学医学部卒業。ハーバード大学医学部、スタンフォード大学医学部博士研究員、京都大学医学部内分泌代謝内科助教授を経て、2006年慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科教授就任。2009年慶應義塾大学医学部総合医科学研究センター副センター長兼任。現在に至る。

著書 「からだに、ありがとう 1億人のための健康学講座」、「臓器は若返る メタボリックドミノの真実」、「腸！いい話 病気になる腸の鍛え方」



9.16 (Sun) 18:30～21:00 / Session 02

アンチエイジング最先端長寿遺伝子を巡る熱いディスカッション！



大澤 郁朗 先生

東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長

1984年東京大学工学部卒、1992年同大学博士(工学)。1984年日本ゼオン(株)研究開発センター研究員、1994年国立精神・神経センター神経研究所博士研究員、2000年日本医科大学老人病研究所助手、2003年同大学大学院講師、2008年同大学老人病研究所教授、2010年より現職。健康長寿に向けた水素分子の基礎的研究に取り組んでいる。



9.17 (Mon) Session 04 / アンチエイジング治療最前線

13:40～14:10 水素分子医学の現状と展望



大野 裕 先生

国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター長

1978年慶應義塾大学医学部卒業。コーネル大学医学部、ペンシルベニア大学医学部留学。2002年慶應義塾大学教授、2011年(独)国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター長。日本認知療法学会理事長、日本ポジティブサイコロジー医学学会理事長、アメリカ精神医学会 distinguished fellow。認知療法活用サイト『うつ・不安ネット』(<http://cbtjp.net>) 監修。

著書 「こころが晴れるノートうつと不安の認知療法自習帳」、「はじめての認知療法」、「HP うつ・不安ネット」



9.17 (Mon) Session 06 / ごきげんに生きるためのサイエンス～うつ病予防から認知症まで心と脳の関係～

17:25～17:55 うつ病患者へのアプローチ～認知行動療法～



金子 雅俊 先生

分子栄養学研究所 所長

分子栄養学研究所所長。ライナス・ポーリング博士の提唱する「分子整合栄養医学」に傾倒し、我が国において、その啓発と指導のために精力的に活動している。「KYB運動」を草の根運動的に全国に展開し、また、栄養アプローチを中心とした「セルフメディケーション」の重要性を講演や各種セミナーを通じて一般大衆に訴え続けている。



9.17 (Mon) Session 03 / 特別講演

10:30～12:00 分子栄養療法の基礎



鬼頭 伸輔 先生

杏林大学精神神経科学教室 講師

1999年岩手医科大学医学部卒業。国立精神・神経センター武蔵病院、杏林大学医学部勤務。ハーバード大学留学後、杏林大学医学部精神神経科学教室講師就任。現在に至る。専門分野は精神医学、神経画像学、神経生理学。研究テーマは経頭蓋磁気刺激(TMS)に関する研究。



9.17 (Mon) Session 06 / ごきげんに生きるためのサイエンス～うつ病予防から認知症まで心と脳の関係～

17:55～18:25 磁気刺激を使ったアプローチの是非～うつ病の治療～



辻村 晃 先生

大阪大学大学院医学系研究科泌尿器科 准教授

1988年兵庫医科大学卒業。大阪厚生年金病院、大阪大学医学部附属病院、独立行政法人国立病院機構大阪医療センター、米国ニューヨーク大学泌尿器科および細胞生物学臨床研究員を経て、2010年大阪大学医学部泌尿器科学准教授就任。現在に至る。アジア太平洋性機能学会理事、日本生殖医学会代議員・常任幹事、他。

著書 「老年病・認知症～長寿の秘訣～」、「男の更年期～よくわかる診断と治療～」



9.17 (Mon) Session 04 / アンチエイジング治療最前線

13:10～13:40 性機能障害におけるレスベラトロール



坪田 一男 先生

慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

1980年慶應義塾大学医学部卒業。米ハーバード大学にてフェローシップ修了。角膜移植、ドライアイ、屈折矯正手術の第一人者。再生角膜移植、近視・乱視・遠視・老眼などの最先端の治療に取り組む。近年は研究と診療に抗加齢医学＝アンチエイジング医学を導入。日本抗加齢医学会副理事長、日本再生医療学会理事など。<http://www.tsubota.ne.jp/>

著書 「老いない生き方」、「人は誰でも「元気な100歳」になれる」、「ごきげんな人は10年長生きできる」

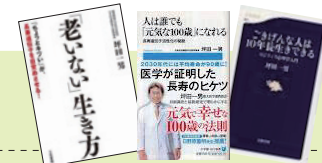


9.17 (Mon) 10:30～12:00 / Session 03

特別講演

9.17 (Mon) 16:55～18:45 / Session 06

ごきげんに生きるためのサイエンス～うつ病予防から認知症まで心と脳の関係～



9.16 (Sun) Session 01 / オープニングセッション

17:50～18:30 アンチエイジングアップデート

9.16 (Sun) Session 02 / アンチエイジング最先端長寿遺伝子を巡る熱いディスカッション！

18:30～19:05 サーチュイン派

9.17 (Mon) Session 05 / 臓器の年齢はいくつ？～診療の現場で手軽に確認できること～

16:25～16:55 目の年齢



別役 智子 先生

慶應義塾大学医学部呼吸器内科 教授

1989年北海道大学医学部医学科卒業。岩見沢市立総合病院、JA北海道厚生連帯広厚生病院、国立療養所札幌南病院、ワシントン大学を経て、北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学准教授就任。大阪大学産業科学研究所疾患糖鎖学寄附研究部門招聘准教授兼任。ワシントン大学発生生物学教室招聘教授兼任。2011年慶應義塾大学医学部内科学教室(呼吸器)教授就任。現在に至る。



9.17 (Mon) Session 05 / 臓器の年齢はいくつ？～診療の現場で手軽に確認できること～

14:55～15:25 肺の年齢

Information

【第8回キレーション治療セミナー】

会期：11月24日(土)入門編、25日(日)応用編

会場：全国町村会館 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-35

※詳細は日本キレーション治療普及協会HPにてご確認ください。(http://www.chelation.jp/)

主催：日本キレーション治療普及協会
お問い合わせ先：03-5775-2075



堀江 重郎 先生

帝京大学医学部泌尿器科 主任教授

1985年、東京大学医学部卒業。東京大学医学部付属病院、米国テキサス大学パーランド記念病院、国立がんセンター中央病院などを経て、2002年杏林大学医学部 助教授(泌尿器科学)2003年帝京大学医学部 主任教授(泌尿器科学)就任。現在に至る。専門領域：泌尿器手術、泌尿器癌の治療、男性医学、腎臓病の治療。日本泌尿器科学会指導医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本腎臓学会指導医。

著書 「男性の病気の手術と治療―診察室では聞けない前立腺・ED・がんの心得」



9.17 (Mon) 14:55～16:55 / Session 05

臓器の年齢はいくつ？～診療の現場で手軽に確認できること～



9.17 (Mon) Session 05 / 臓器の年齢はいくつ？～診療の現場で手軽に確認できること～

15:55～16:25 ホルモン年齢と男性力



満尾 正 先生

満尾クリニック 院長

1982年北海道大学医学部卒業。杏林大学救急医学教室講師、ハーバード大学外科代謝栄養研究室研究員を経て、キレーション治療とアンチエイジングを中心としたクリニックを2002年に開設、現在に至る。

「125歳まで元気に生きる」小学館、「40代からの太らない体の作り方」三笠書房など著書多数。

著書 「125歳まで元気に生きる―体内から若返るアンチエイジング」、 「40代からの「太らない体」の作り方」



9.17 (Mon) 13:10～14:40 / Session 04

アンチエイジング治療最前線



南野 徹 先生

千葉大学大学院医学研究院循環病態医学 講師

1989年千葉大学医学部卒業。臨床研修後、東京大学医学部にて医学博士取得。ハーバード大学医学部研究員などを経て、現在、千葉大学大学院医学研究院循環病態医学講師。血管再生治療や老化研究を研究領域としてもち、2010年には日本循環器学会賞(佐藤賞)やベルツ賞を受賞している。



9.16 (Sun) Session 02 / アンチエイジング最先端長寿遺伝子を巡る熱いディスカッション！

19:40～20:15 インスリン派



三村 將 先生

慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 教授

1984年慶應義塾大学医学部卒業。ペルー国リマ市国立精神保健センター、ボストン大学研究員、東京歯科大学市川総合病院講師、昭和大学准教授、スタンフォード大学訪問教授を経て、2011年慶應義塾大学医学部精神神経科学教室教授就任。専門は老年精神医学、神経心理学。認知症、もの忘れ、頭部外傷、老年期うつ病などの患者さんの診療、研究に従事している。

著書 「EBM 精神疾患の治療」、「高次脳機能障害マエストロシリーズ」、「老年期うつ病ハンドブック」



9.17 (Mon) Session 06 / ごきげんに生きるためのサイエンス～うつ病予防から認知症まで心と脳の関係～

16:55～17:25 脳と心を若く保つには



宮地 元彦 先生

国立健康栄養研究所 身体活動調査研究室長

1988年、鹿屋体育大学体育スポーツ課程卒業。同大学院修了。筑波大学大学院体育科学博士課程取得。川崎医療短期大学助教授、コロラド大学客員研究員を経て、2011年、独立行政法人国立健康栄養研究所健康増進研究部長に就任。現在に至る。運動所要量策定WG委員等、厚生労働省の社会活動に数多く参加。

著書 「行動変容につなげる保健指導スキルアップBOOK[エビデンスと運動実践から学ぶ運動指導]」



9.17 (Mon) Session 05 / 臓器の年齢はいくつ？～診療の現場で手軽に確認できること～

15:25～15:55 筋肉の年齢



協野 修 先生

慶應義塾大学医学部内分泌代謝内科 専任講師

1990年：慶應義塾大学医学部卒、1999年：米国カルフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)医学部留学、2002年：慶應義塾大学救急部助手、2010年：慶應義塾大学医学部、腎臓内分泌代謝内科、専任講師 専門：腎臓病学、内分泌学、高血圧、透析医学、日本腎臓学会指導医、日本内分泌学会指導医、日本高血圧学会指導医、日本透析医学会指導医



9.16 (Sun) Session 02 / アンチエイジング最先端長寿遺伝子を巡る熱いディスカッション！

19:05～19:40 mTOR派



山田 秀和 先生

近畿大学医学部奈良病院皮膚科 教授 / 近畿大学アンチエイジングセンター 副センター長

1981年近畿大学医学部卒業。ウィーン大学、ベセスダNIH、近畿大学医学部皮膚科講師、近畿大学医学部奈良病院皮膚科助教授を経て、2005年より同科教授就任。2007年近畿大学アンチエイジングセンター副センター長併任。日本皮膚科学会専門医、日本東洋医学会指導医、日本アレルギー学会指導医、日本抗加齢医学会理事。

著書 「見た目のアンチエイジング―皮膚・容顔・体型の若返りの手法」



9.17 (Mon) Session 04 / アンチエイジング治療最前線

14:10～14:40 皮膚の老化を防ぐ



Information

9月16日(日)に同会場にて開催されます「第6回眼抗加齢医学研究会講習会」にも参加される場合、本セミナーと講習会とで取得できる合計単位は「8単位」となります(1日の最大取得単位が5単位のため)。

【第6回眼抗加齢医学研究会講習会】

開催日時：9月16日(日)10:25～17:10

日本抗加齢医学会認定単位(受験用・更新用) 5単位

開催にあたって

眼科における抗加齢医学も年を重ねるごとに成熟してきていると感じます。第6回となる本会では、「たばこ」「光老化」「老眼」「食」をテーマにプログラムを組みました。毎年、眼科以外の講義も人気が高いので、特別講演の別役智子先生にはCOPD(慢性閉塞性肺疾患)のお話しをしていただきます。眼と関わりの深い「光老化」もしっかりお勉強します。「老眼」のセッションでは、最近「脳を鍛えることで老眼の視力低下が改善できる」という論文が発表されましたので、Uri Polat先生にビデオ講演をお願いしました。今年も充実のプログラムとなりました。皆様ぜひご参加ください！

世話人代表 坪田 一男

Information

【第13回日本抗加齢医学会総会】

The 3rd International Conference on Anti-Aging Medicine 併設

テーマ アンチエイジングでつながる医学 ―Share and Spread Anti-Aging Medicine―

会期：2013年6月28日(金)、29日(土)、30日(日)

会長：堀江 重郎 (帝京大学医学部泌尿器科学教室主任教授)

会場：パシフィコ横浜 会議センター
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1